

じんしんようちえんについて

—教育方針—

仏教の精神を保育姿勢として、次の三つの視点をもって「ともに生きともに育ちあう保育」を実践します。

1. 乳幼児の主体的な生活
2. 遊びを通しての教育
3. 一人ひとりに応じた援助

子どもが本来持っている力を引き出し、さらに生きぬく力へとつなげていきます。

—教育目標—

- ☆ いのちを尊敬する心
- ☆ 柔軟な思考力と確かな判断力
- ☆ 自らを自由に表現できる独創性と創造性
- ☆ 人との関わりの中で育つ協調性と社会性
- ☆ 健やかな心身の発達と基本的生活習慣の確立

子どもたちの中にこれらをはぐくんでいくことを願いとしています。



じんしんようちえんが大切にしている3つの柱

野菜収穫



散歩

いのちを尊敬する心

いのちをはぐくむ自然環境
自然のいきづかいはいのちの尊さを伝え
豊かな感情とたくましい心をはぐくみます。



カブト虫のお世話



田植え→稲刈り



探索あそび



裏山あそび



のびのびと体を動かす遊び
自らの体を使っての遊びは柔軟な思考力と
確かな判断力を培います。

泥べちゃあそび



絵本タイム



お絵描きあそび



知的な発達は、
自らが、遊びを創造的に展開することにより
培われています。

文字や数、大きさの違いへの興味



シールあそび



忍者あそび

